

- 18) 井上 誠：「食べる・飲む」はどこまで分かっているのか。FOOMA2012 アカデミックプラザ。東京、2012年6月6日。

【受賞】

- 1) 林 宏和, 堀 一浩, 谷口裕重, 井上 誠, 小野高裕: ゲル試料の押しつぶし摂取時嚥下動態-舌圧と嚥下内視鏡の同時測定. 平成24年度優秀口演賞, 第23回日本老年歯科医学会, 2012年6月22-23日.
- 2) 島田久寛, 井上 誠: 随意嚥下閾値に関わる食塊の物性. 平成24年度日本摂食・嚥下リハビリテーション学会論文賞.
- 3) 覚嶋慶子, 林 豊彦, 道見 登, 谷口裕重, 井上 誠: 錠剤形状の違いが嚥下動態に与える影響. 第32回日本生体医工学学会甲信越支部大会, 優秀賞, 2012年9月21日.

【その他】

- 1) Inoue M: Dysphagia Rehabilitation in Niigata University. Thamassat University, Thailand, 2012.5.16.
- 2) 伊藤加代子: 口腔機能向上トレーニング方法. 新潟県歯科保健協会研修会, 新潟市, 2013年3月4日
- 3) 谷口裕重: 有病者の歯科治療と摂食・嚥下リハビリテーション. 平成24年度新潟大学歯学部同窓会・セミナーⅢ, 新潟大学歯学部, 新潟市, 2013年2月3日
- 4) 伊藤加代子: 高齢期の口・歯の健康を学ぼう, 口腔に関する講演会, 新潟県関川村, 2013年1月24日
- 5) 伊藤加代子: 介護予防～アセスメントからプランニングまで～, 介護予防従事者研修会, 新潟, 2012年12月7日, 長岡市, 2012年12月18日.
- 6) 伊藤加代子: 高齢者の身体的特徴と疾患, 介護について, 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会, 新潟県歯科医師会, 新潟, 2012年12月1日.
- 7) 谷口裕重: 食事介助時の注意点. 平成24年度歯の健康力推進歯科医師等養成講習会, 新潟県歯科医師会館, 新潟市, 2012年11月11日
- 8) 井上 誠: 食べるを知るために必要な知識と支援技術. 東新潟特別支援学校夏季職員研修, 新潟, 2012年8月22日.
- 9) 中村由紀: 新潟市主催 障害者の摂食・嚥下支援研修会. 長岡市寺泊文化センター, 長岡市, 2012年7月31日.
- 10) 辻村恭憲: 口腔ケアの重要性・必要性 高齢者の口腔ケアの方法. 山王苑にいがた, 新潟, 2012年7月20日.

- 11) 伊藤加代子: 新潟大学歯学部公開講座: 介護予防のための口腔機能の向上入門講座, 新潟, 2012年7月17日.
- 12) 辻村恭憲: 摂食・嚥下機能療法の基本技術. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2012年7月9日.
- 13) 辻村恭憲: 摂食・嚥下の実際. 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2012年7月1日.
- 14) 井上 誠: おいしく安全な食生活のために-これからの超高齢社会に向けて-. FOOMA2012, アカデミックプラザ, 東京, 2012年6月5-8日.
- 15) 伊藤加代子: ドライマウス手帳, 日本歯科新聞, 2012年5月29日.
- 16) 伊藤加代子: ツールを用いたドライマウスの診断と治療連携, 第66回日本口腔科学会学術集会ランチョンセミナー, 広島市, 2012年5月17日.
- 17) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションはどこに向かうのか. 新潟大学歯学部同窓会石川県支部, 2012年4月14日.
- 18) 林 宏和: 健常者における押しつぶしと嚥下の生体力学的評価. 学位研究紹介, 新潟歯学会誌, 42(2):55-56, 2012.

歯科麻酔学分野

【著書】

- 1) 瀬尾憲司. 追悼 Prof John Yagiela, 日本歯科麻酔学会雑誌, ニュースレター, 2013, 41巻第1号, p139.

【論文】

- 1) Kenji Seo, Yuji Inada, Makoto Terumitsu, Tatsuo Nakamura, Keiji Shigeno, Yutaka Tanaka, Tatsuru Tsurumaki, Shigenobu Kurata, Hitoshi Matsuzawa. Protracted delay in taste sensation recovery after surgical lingual nerve repair: a case report, Journal of Medical case reports, 2013, 7,77.
- 2) Zakir HM, Mostafeezur RM, Suzuki A, Hitomi S, Suzuki I, Maeda T, Seo K, Yamada Y, Yamamura K, Lev S, Binstok AM, Iwata K, Kitagawa J. Expression of TRPV1 channels after nerve injury provides an essential delivery tool for neuropathic pain attenuation, Plos One, 2012 Sep; 7 (9) :e44023
- 3) Kodama Y, Seo K, Hayashi T, Kobayashi T, Niwano M, Koyama T, Murayama M, Takagi R. Orofacial pain related to traumatic neuroma in a patient with multiple TMJ operations. Cranio. 2012 Jul;30 (3) :183-7.
- 4) Kenji Seo, Makoto Terumistu, Yutaka Tanaka,

Tatsuru Tsurumaki, Shigenobu Kurata, Hitoshi Matsuzawa, Ristuo Takagi, Preoperative evaluation of spatial relationship between inferior alveolar nerve and fibro-osseous lesion by high resolution MR neurography on 3.0T system: a case report, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 2012 Feb;70 (2) :e119-23.

- 5) 瀬尾憲司, 照光 真, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸: 歯学部登院前における麻酔計画立案実習の歯科麻酔学教育効果に関する考察, 日本歯科麻酔学会雑誌 (2012) ;40 (1) :31-35.
- 6) 金丸博子, 田中 裕, 照光 真, 弦巻 立, 倉田行伸, 瀬尾憲司: 感冒回復後の健康成人の全身麻酔で気管支攣縮が発生し喘息様気道過敏性亢進を示した症例, 臨床麻酔 (2012) ;36 (2) 237-238.
- 7) 田中 裕, 照光 真, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 吉川博之, 小玉由記, 山崎麻衣子, 瀬尾憲司, 新潟大学医歯学総合病院における院内歯科救急対応システムの現況と分析, 新潟歯学会雑誌 (2012) ;42 (1) :41-49.
- 8) 山崎麻衣子, 照光 真, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 吉川博之, 小玉由記, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院, 歯科麻酔科診療室における平成 23 年の外来患者の臨床統計的観察, 新潟歯学会雑誌, 42 卷 (2), 107-111.

【商業誌】

- 1) 瀬尾憲司, 第 17 回日本口腔顔面痛学会報告, ペインクリニック, 2013,1vol34, 140-141, 2013.
- 2) 弦巻 立, 山崎麻衣子, 照光 真, 田中 裕, 倉田行伸, 瀬尾憲司, プリフォームド気管チューブが曲部で狭窄した 2 症例, 臨床麻酔 (2012) ;36 (6) :954-956.
- 3) 瀬尾憲司, 照光 真, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 小玉由記, 金丸博子, 山崎麻衣子, 吉川博之, 加藤康憲, 簡易型熱温度閾値測定装置の開発, ペインクリニック, (2012) ;33 (4) :569-572.
- 4) 倉田行伸, 田中 裕, 照光 真, 弦巻 立, 金丸博子, 吉川博之, 小玉由記, 山崎麻衣子, 瀬尾憲司: 末梢性三叉神経損傷における触覚閾値低下の予後判定基準について, 日本ペインクリニック学会誌, (in press), 2013.

【研究費】

- 1) 瀬尾憲司: 基盤研究 B, 平成 23 ~ 26 年度, 課題番号 23390461, 研究代表者 瀬尾憲司, (4030 千円), 三叉神経障害性疼痛発生機序の網羅的解析
- 2) 瀬尾憲司: 挑戦的萌芽研究, 平成 22 ~ 24 年度, 課

題番号 22659367, 研究代表者 瀬尾憲司 (910 千円), QX-314 を応用した新たな疼痛管理法への展開

- 3) 照光 真: 基盤研究 C, 平成 24 年度 ~ 26 年度, 課題番号 23592984, 研究代表者 照光真, ヒト口腔顔面の末梢神経障害に対する水分子状態をとらえた MR 生体病理イメージング
- 4) 田中 裕: 基盤研究 C, 平成 24 年度 ~ 26 年度, 課題番号 24593053, 研究代表者 田中 裕, 味覚と嗅覚刺激により口腔顔面痛の変調機構の解明と臨床への応用.
- 5) 弦巻 立: 基盤研究 C, 平成 24 年度 ~ 26 年度, 課題番号 24593052, 研究代表者 弦巻 立, 痛みとうつの相関関係 ~ NPY を基点として ~

【講演会】

- 1) 瀬尾憲司: バイタルサインセミナー: 安全な歯科医療を提供するためのバイタルサインセミナー 安全な歯科治療を目指して (I) (II), 平成 24 年 6 月 17 日, 新潟市.
- 2) 瀬尾憲司: What is our destination ?, 第 108 回近畿臨床歯科麻酔研究会, 平成 24 年 6 月 23 日, 大阪歯科大学.
- 3) 瀬尾憲司: AHA ガイドライン 2010 に沿った歯科における新しい救急蘇生法と緊急対処, 新潟大学歯学部同窓会学術セミナー, 5 月 20 日 (日), 新潟大学.
- 4) 瀬尾憲司: 非心停止例を中心とした歯科治療中の患者急変への対応 「それだけですか?」, 燕市歯科医師会医療管理講演会, 平成 24 年 9 月 12 日, 燕市.
- 5) 瀬尾憲司: 歯科医療安全セミナー 「全身管理に必要な基礎知識と救急対応」, 平成 12 年 11 月 3 日, 東京大学.
- 6) 瀬尾憲司: DAM アルゴリズムと戦略について, 日本医学シミュレーション学会, 第 3 回ミニ DAM セミナー, 平成 24 年 11 月 10 日, 新潟大学.
- 7) 瀬尾憲司: 「末梢神経障害発生, その時」, 徳真会特別講演会, 平成 24 年 12 月 17 日, 新潟市.
- 8) 田中 裕: 全身麻酔の安全性について, 沖縄県歯科医師会主催講演会, 平成 24 年 11 月 13 日, 沖縄県宮古市.
- 9) 瀬尾憲司: 緊急事態発生, そのときあなたは (ガイドライン 2010 に基づいた歯科医師の緊急対処法), 伊勢崎市歯科医師会学術講演会, 平成 25 年 2 月 7 日

【学会発表】

- 1) Effects of antibody to BDNF on nerve regeneration following transection of the inferior

- alveolar nerve Y.M VALVERDE GUEVARA, H. YOSHIKAWA, K.SEO, T. MAEDA, I. SAITO, Neuroscience meeting, 2012, Oct. 17th. new Orleans USA.
- 2) 田中 裕, 照光 真, 弦卷 立, 倉田行伸, 金丸博子, 吉川博之, 小玉由記, 山崎麻衣子, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院におけるデンタルコール(院内歯科救急体制)の現状と課題, 第45回新潟歯学会総会, 2012年4月21日, 新潟市.
 - 3) 弦卷 立, 照光 真, 田中 裕, 倉田行伸, 小玉由記, 山崎麻衣子, 金丸博子, 吉川博之, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院での歯科麻酔科管理により全身麻酔下障害者歯科治療の現況, 第45回新潟歯学会総会, 2012年4月21日, 新潟市.
 - 4) 真島一郎, 清野 洋, 藤村健夫, 清水夏恵, 村上修一, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 長谷川隆志, 村松芳幸, 鈴木栄一, 成田一衛, 村松公美子, 田中 裕, 新沢秀範, 内山徹: PHQ-9を用いた気管支喘息患者の「うつ」の実態調査, 第53回日本心身医学会, 2012年5月25-26日, 鹿児島市, 心身医学, 52(6), 565, 2012.
 - 5) 藤村健夫, 清野 洋, 清水夏恵, 田中 裕, 村上修一, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸, 成田一衛: 血液透析患者に対する心身医学の視点 その3『血液透析患者の抑うつ感・不安感について』, 第53回日本心身医学会, 2012年5月25-26日, 鹿児島市, 心身医学, 52(6), 574, 2012.
 - 6) 弦巻立, 山崎麻衣子, 照光 真, 田中裕, 近藤由記, 吉川博之, 金丸博子, 倉田行伸, 瀬尾憲司: 経鼻気管チューブのトラブルを生じた3症例, 第29回関東臨床歯科麻酔懇話会, 平成24年6月23日, 東京.
 - 7) 嵐山貴徳, 瀬尾憲司, 照光 真, 安島久雄, 池田順行, 高木律男: 顎関節症に起因した顎関節部の難治性疼痛に対して高周波熱凝固を用いた耳介側頭神経ブロック療法の治療経験, 第25回日本顎関節学会, 平成24年7月14-15日, 札幌市.
 - 8) 田中 裕, 瀬尾憲司, 村松芳幸, 村松公美子: 精神疾患簡易構造化面接法を用いた口腔および顔面領域に対する疼痛患者の心身医学的アプローチ, 第27回日本歯科心身医学会, 2012年9月1-2日, 川越市, 第27回日本歯科心身医学会抄録, 37, 2012.
 - 9) 中野 久, 前田雅也, 弦巻 立: 当センターにおける笑気吸入鎮静法による行動調整—治療内容から見た他の行動調整法の中での位置づけ, 第29回日本障害者歯科学会学術大会, 2012年年9月29日, 札幌, 日本障害者歯科学会雑誌, 33(3), 474, 2012
 - 10) 弦巻 立, 吉川博之, 瀬尾憲司: ラット三叉神経節におけるNPYとNPY受容体サブタイプmRNA発現の検討 第40回日本歯科麻酔学会学術集会 2012年10月4-6日, 福岡市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 499, 2012.
 - 11) 吉川博之, 照光 真, 松澤 等, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 小玉由記, 山崎麻衣子, 瀬尾憲司: 下顎骨区域切除部に移植された腸骨内に下歯槽神経の再生を認めた1例, 第40回日本歯科麻酔学会, 2012/10/5-6, 福岡, 日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 150, 2012.
 - 12) 田中 裕, 照光 真, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 吉川博之, 小玉由記, 山崎麻衣子, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院における院内歯科救急対応システム(デンタルコール)の現況と分析, 第40回日本歯科麻酔学会, 2012年10月4-6日, 福岡市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 203, 2012.
 - 13) 小玉由記, 吉川博之, 田中 裕, 照光 真, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 山崎麻衣子, 瀬尾憲司: 脊髄小脳変性症患者に対する嚥嚥摘出術における全身麻酔経験, 第40回日本歯科麻酔学会, 2012年10月4-6日, 福岡市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 40(4), 208, 2012.
 - 14) 清水夏恵, 清野 洋, 藤村健夫, 村上修一, 真島一郎, 長谷川隆志, 村松芳幸, 鈴木栄一, 成田一衛, 田中裕, 新潟喘息治療研究会: 気管支喘息における心身医療の重要性について, 第17回日本心療内科学会総会, 2012年11月17-18日, 福岡市, 日本心療内科学会雑誌, 16, 抄録号, 38, 2012.
 - 15) 清野 洋, 村松実美子, 吉嶺文俊, 藤村健夫, 清水夏恵, 村上修一, 真島一郎, 田中 裕, 村松公美子, 村松芳幸, 成田一衛: うつ病として治療されたのち, 診断に至った甲状腺中毒症の一例, 第17回日本心療内科学会総会, 2012年11月17-18日, 福岡市, 日本心療内科学会雑誌, 16, 抄録号, 87, 2012.
 - 16) 藤村健夫, 清野 洋, 清水夏恵, 田中 裕, 村上修一, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸, 成田一衛: 血液透析患者において, 原疾患により心身医学的臨床病態の相違はあるのか?, 第17回日本心療内科学会総会, 2012年11月17-18日, 福岡市, 日本心療内科学会雑誌, 16, 抄録号, 91, 2012.
 - 17) 杉岡伸悟・讃岐拓郎・小谷順一郎・瀬尾憲司・駒澤伸泰・植木隆介・上農喜朗・安宅一晃, 中川雅史歯科医療従事者を対象としたコース開発と課題, 第8回日本医学シミュレーション学会「パネルディスカッション1」2013.2.10 浜松医大
- 【研究会発表】**
- 1) 渡部達範, 古谷健太, 瀬尾憲司: 新潟大学 mini DAM セミナーの紹介, 第75回新潟麻酔懇話会・第54回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会,

- 2012年6月2日,新潟市.
- 2) 照光 真:人工呼吸器関連肺炎(VAP)が疑われた1症例,第70回新潟口腔外科麻醉科集談会 2012/5/10 新潟.
 - 3) 照光 真:下顎骨区域切除部に移植された腸骨内に下歯槽神経の再生を認めた1例,新潟疼痛懇話会 2012/11/8 新潟
 - 4) 吉川博之,瀬尾憲司:下歯槽神経切断における末梢BDNFの影響,第76回新潟麻醉懇話会,第55回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会,2012年12月1日,新潟市.

【その他】

- 1) 瀬尾憲司:新潟大学 ICLS 講習インストラクター, 2012年4月12日,新潟市.
- 2) 瀬尾憲司: AHA BLS provider course インストラクター, 2012年5月19日,新潟市.
- 3) 瀬尾憲司, 照光 真, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 吉川博之, 小玉由記, 山崎麻衣子, 石井多恵子:平成24年度新潟大学歯学部同窓会学術セミナー-AHAガイドライン2010に沿った歯科における新しい救急蘇生法と緊急対処-, 2012年5月20日,新潟市.
- 4) 瀬尾憲司:日本麻醉学会 DAM セミナーインストラクター, 2012年24年6月8日,神戸市
- 5) 瀬尾憲司: AHA BLS provider course インストラクター, 2012年8月18-19日,新潟大学.
- 6) 瀬尾憲司, 他:徳真会主催 救急講習会, 2012年8月25日,新潟市.
- 7) 瀬尾憲司:日本医学シミュレーション学会 第3回ミニDAMセミナーインストラクター, 2012年11月10日,新潟大学.
- 8) 瀬尾憲司:新潟大学 ICLS インストラクター, 2012年12月1日,新潟市.
- 9) 瀬尾憲司: AHA BLS provider course インストラクター, 2012年12月8日,新潟市民病院.
- 10) 瀬尾憲司: DAM インストラクター, 日本医学シミュレーション学会, 平成25年2月9日,浜松医大.
- 11) 照光 真: AHA ACLS provider 取得 2012年5月4日,東京都.
- 12) 照光 真:日本歯科麻醉学会認定医(第1300号), 2012年8月26日.
- 13) 照光 真:平成24年度デンツプライ賞受賞, 2012年10月5日,福岡市.
- 14) 照光 真:第25回新潟大学 ICLS コース 修了, 2012年12月1日,新潟市.
- 15) 照光 真: AHA BLS Health Care Provider (G2010) 取得, 2013年3月9日,新潟市.
- 16) 山崎麻衣子: AHA BLS Health Care provider (G2010) 取得, 2012年8月19日,新潟市.
- 17) 田中 裕:沖縄県心身障害者(児)全身麻酔下歯科治療事業派遣 2012年11月12~17日,沖縄県宮古島市.
- 18) 田中 裕:セデーショントレーニングコース(歯科)インストラクター取得(日本医学シミュレーション学会主催), 兵庫, 2012年12月8日.
- 19) 田中 裕:日本医学シミュレーション学会 DAM 実践セミナー修了, 2013年2月9日,浜松市.
- 20) 弦巻 立:沖縄県心身障害者(児)全身麻酔下歯科治療事業派遣, 2012年11月7~27日,沖縄県宮古島市.
- 21) 倉田行伸:セデーショントレーニングコース(歯科)インストラクター取得(日本医学シミュレーション学会主催), 兵庫, 2012年12月8日.
- 22) 倉田行伸:日本医学シミュレーション学会 DAM 実践セミナー修了, 2013年2月9日,浜松市.
- 23) 吉川博之:第52回 DAM 実践セミナー修了(日本医学シミュレーション学会主催), 2013年1月13日,福島.
- 24) 吉川博之:第21回セデーショントレーニングコース修了(日本医学シミュレーション学会), 2013年1月13日,福島.
- 25) 吉川博之: AHA BLS Health Care Provider (G2010) 取得, 2013年3月9日,新潟市.
- 26) 佐藤由美子: AHA BLS Health Care Provider (G2010) 取得, 2013年3月16日,新潟市.

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) LinLin Han, Masayoshi Fukushima: AT the Forefront; illustrated topics in dental research and clinical practice /edited by Hiromasa Yoshie, 16 The effect of dental whitening on the tooth surface, Quintessence Publishing ,Tokyo ,2012.
- 2) Magara J, Nozawa-Inoue K, Suzuki A, Kawano Y, Ono K, Nomura S, Maeda T: Alterations in intermediate filaments expression in disc cells from the rat temporomandibular joint following exposure to continuous compressive force. J Anat, 220: 612-621, 2012.
- 3) Yoshizawa M, Koyama T, Izumi N, Niimi K, Ono Y, Ajima H, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Ono K, Takagi R, Saito C: Autotransplantation or replantation of cryopreserved teeth: a case series and literature review. Dent Traumatol. 2013 Mar